

試験研究活動情勢報告（平成 31 年 2 月分）

【果樹試験場】

平成 31 園芸年度「高知県園芸品展示品評会」



審査の様子

高知県園芸品展示品評会実行委員会は 2 月 2、3 日に高知ちばさんセンターにて平成 31 園芸年度「高知県園芸品展示品評会」が開催されました。

果実部門には土佐文旦72点、ポンカン20点、温州ミカン13点、ユズ11点、八朔2点、「不知火」等その他の品目9点の果実が出品されました。果樹試験場は、品評会前日に糖度・酸度の内容分析を行い、審査が円滑に進むようにサポートしました。

スマート農業にむけて ～ドローン防除の可能性を探る～



質疑応答の様子

ドローンによる果樹園防除の実演が 2 月 8 日に果樹試験場で開催されました。普及指導員、JA 高知県営農指導員、果樹試験場研究員など 45 名が見守る中、ドローン(雄蜂の意味)は羽音をあげてミカンの直上をゆっくり飛行し、機体を左右に揺らしながら模擬散布を行いました。防除終了後には、あらかじめ設置していた感水紙による薬剤の付着状態を確認するとともに、散布料金など多くの質問が寄せられ、ドローン防除への関心の高さが伺えました。

高知大学との情報交換 ～高知大学果樹園芸学研究室と研究交流～



研究発表の様子

2 月 18 日に高知大学果樹園芸学研究室との研究交流会を果樹試験場で開催しました。この交流会は互いの研究成果を紹介し合う場として平成 12 年から実施しており、通算で 20 回目となりました。高知大学からは卒論研究 2 課題と三原村でのユズの研究について、果樹試験場からは、「トゲなしユズ優良系統の選抜」、「果樹試験場における

	IoP プロジェクトの取り組み」の 2 課題が発表され、熱心な討議が行われました。特に今年度から始まった IoP プロジェクトに対しては、協力・連携して研究を進めていくことを確認しました。
--	---